

東京造形大学が八王子城の歴史解説プレートを作成・市へ寄贈 ～ARで見られる再現3DCGも制作・公開～

1 経緯・概要

市内の美術大学であり、今年開学60周年を迎える東京造形大学より八王子城の歴史解説プレートの寄贈を受け、八王子城跡ガイダンス施設の付近へ設置しました。現在、宇津貫町にキャンパスを構える東京造形大学は、当初、八王子城跡のある元八王子町に開学されたご縁で、今回の寄贈となりました。

2 ARで見られる再現3DCG

プレートの制作・寄贈と併せ、スマートフォン等を通してAR（※カメラを通した現実の風景に、デジタル情報を重ねて表示する技術）で閲覧できる、戦国時代の八王子城・御主殿の居館（想像図）と東京造形大学旧校舎の3DCGを制作されました。

実際に存在した場所で見られるよう、居館（想像図）は八王子城跡の御主殿にある看板、旧校舎はプレートにそれぞれ二次元コードを記載しており、スマートフォン等で読み込むとARを閲覧できます。

3 懇談会の実施

本件を踏まえ、令和8年（2026年）4月21日（火）に、東京造形大学 学長、運営法人である学校法人桑沢学園 理事長と市長との懇談会を現地で行い、御礼を申しあげました。

◆寄贈いただいたプレート



◆再現3DCGをARで表示（上図：居館（想像図）・下図：東京造形大学旧校舎）



◆懇談会の様子



<問い合わせ>

生涯学習スポーツ部文化財課長 中野目 泰明 電話042-620-7265